

---

令和4年度  
高等教育機関における  
共同講座創造支援事業費補助金

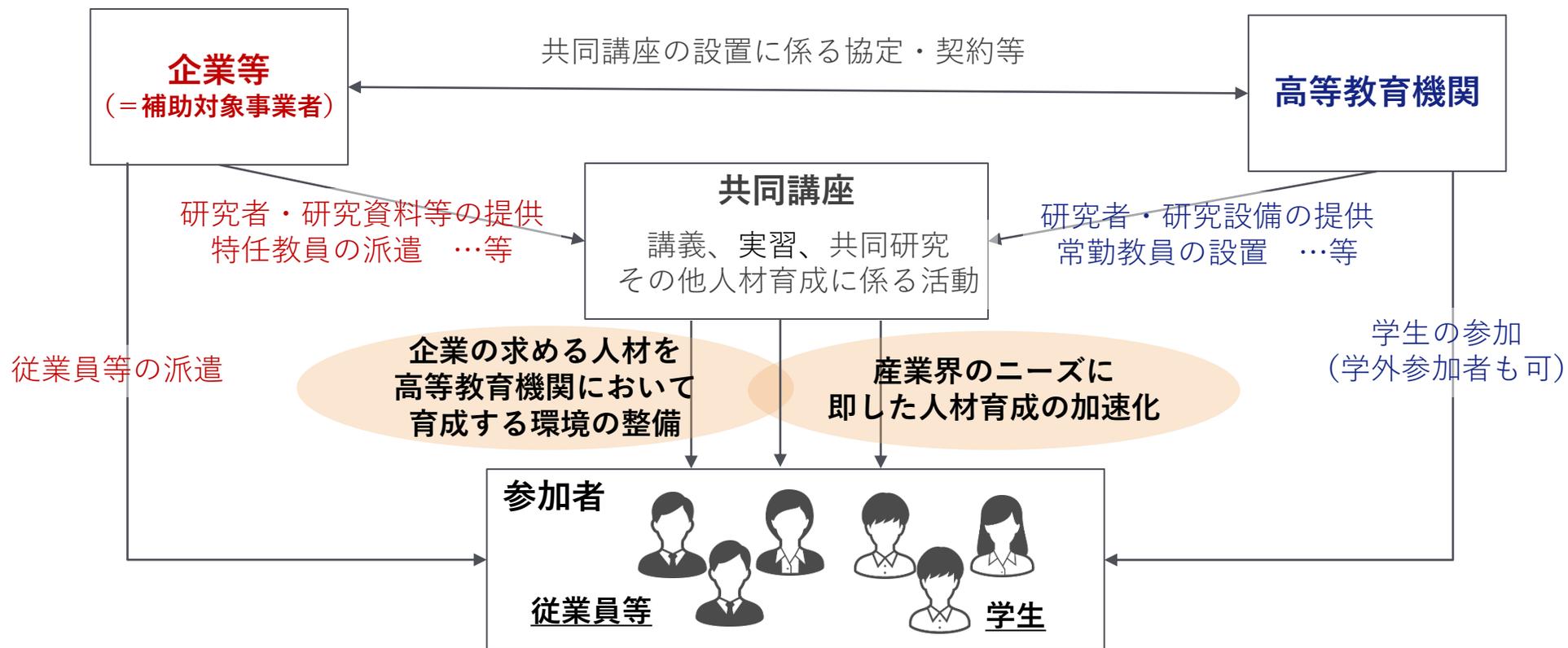
一次公募における採択事例紹介

2023年6月

---

## 事業概要

企業等が高等教育機関と連携して”共同講座”を設置・運営する費用を助成します。



### ○通常枠

概要：共同講座を設置・運営する取組を支援

補助率：1/3以内、補助上限額：3,000万円（税抜）/事業

### ○処遇反映枠

概要：共同講座の設置・運営に加えて、共同講座によるリスキングの成果等を処遇へ反映する取組を支援

補助率：1/2以内、補助上限額：3,000万円（税抜）/事業

### 補助対象経費

- ✓ 共同講座運営費
- ✓ 人件費
- ✓ 委託費・外注費
- ✓ 備品・機材導入費
- ✓ その他諸経費

事例2) パーソルプロセス&テクノロジー社×関西大学 (1/2)共同講座の位置づけと概要

WHY

【パーソルプロセス&テクノロジー社の事業課題】

- ✓ 人材派遣・BPO事業等を営むパーソル社は、人手不足で脱炭素経営に遅れを取る中堅・中小企業をターゲットとしたGXコンサルティング事業を立ち上げており、今後事業を拡大するには、**専門知識を有するGXコンサルタントの採用と効果的な育成が必要**。
- ✓ また、現時点で脱炭素経営へに意識が低い顧客候補に対して、**「なぜ脱炭素に取り組まなければならないのか」の啓蒙も必要**。GXコンサルタントは、単なるCO2排出量の算定のみならずGXが経営へ与える影響を管理会計等によって説明できる状態が望ましい。

WHAT

参加対象者の現状 (Before)

過去の事業戦略

GX事業の立ち上げ

育成してきた人物像

(求めてきた役割)

- ✓ GXに関わらず事業の立ち上げができるメンバー
- (求めてきた業務上の行動)
- ✓ 簡単な説明はできるが、算定作業には対応できない
- ✓ 削減施策については判断できない

参加対象者になって欲しい状態 (After)

今後の事業戦略

GXコンサルタントの育成

育成したい人物像

(求める役割)

- ✓ GXに特化した脱炭素支援事業を先導するリーダー
- (求める業務上の行動)
- ✓ 排出量の算定、ホットスポットを分析し、削減の提案ができる
- ✓ 顧客の脱炭素への行動変容を促すことができる

HOW

【共同講座の設置】 パーソルプロセス&テクノロジー社×関西大学 共同講座



## 事例2) パーソルプロセス&テクノロジー社×関西大学 (2/2)実施体制および評価等の工夫

### 実施体制

- ✓ パーソルプロセス&テクノロジー社と関西大学は、2023年度より共同研究および共同講座の設置について調整を開始。二者間にて設置合意がなされ、2023年10月開始に向けて運営準備を進めている。

<p>パーソル プロセス&amp; テクノロジー社</p> 	<p><b>(役割)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 講義運営全体の総括</li> <li>✓ 実習・実証実験の主導 (実データ提供等)</li> <li>✓ 参加社員の人選・サポート</li> </ul> <p><b>(講座運営に活かす強み・特徴)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コンサルティング実績と実データの保有</li> </ul>	<p>関西大学</p> 	<p><b>(役割)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 共同研究・講義の主導</li> <li>✓ 参加学生の募集・選定・サポート</li> </ul> <p><b>(講座運営に活かす強み・特徴)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カーボンニュートラル研究センターの実績</li> <li>✓ 環境経営の教育効果の評価ノウハウ</li> <li>✓ 関西地域企業との連携</li> </ul>
---	---	---	--

### 学習を推進する評価等の工夫 (処遇反映等)

- ✓ 1つの到達目標である「炭素会計アドバイザー3級」資格を取得した場合、一時金を支給。学習した知見を活用し、業務に活かすことができるような行動変容を促し、将来のGXコンサルタント人材の育成に繋げる。

<p>成果指標と モニタリング計画</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本講座は将来のGX コンサルタント人材の育成を目指すものであり、2年程度の期間が必要と考えられる。1年目の中間的な学習目標として、「GXに関する基礎知識を身に着けること」および「排出量算定に関する概念の理解、計算手法、係数の読み解き方、削減方針の策定手法を習得すること」を設定。</li> <li>✓ 上記のスキル水準を、「炭素会計アドバイザー3級」が取得できるレベルと設定。</li> <li>✓ 講義毎のアンケートと、講座終了後の現場実践度の面談調査によりモニタリング。</li> </ul>
<p>参加動機醸成や 実務反映に向けた工夫 (処遇反映等)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 講座受講後に「炭素会計アドバイザー3級」の資格を取得できた場合、一時金を支給。</li> <li>✓ 上長との面談にて、定性的に行動変容が確認できた場合、人事考査の際の評価点の加点や、希望する人事対応をあわせて検討。</li> </ul>

ご興味をもたれた方へ

## 公募要領・問い合わせ先

■ ご興味をもたれた方は、下記からお問い合わせください。

- 一般社団法人 社会実装推進センター（JISSUI）は、経済産業省より「令和4年度高等教育機関における共同講座創造支援事業費補助金」の執行団体として採択され、本事業の事務局を運営しております。



### ■一般社団法人 社会実装推進センター（JISSUI） 産学連携担当

MAIL : [sangaku-renkei@jissui.or.jp](mailto:sangaku-renkei@jissui.or.jp)

### ■公募要領・申請様式

WEB : <https://jissui.or.jp/project/project013/>